

君がくれた翼

久しぶり！

そんなに驚かないでよ。いつも傍そばにいてくれたでしょ
ずっと、こうして会いたかったんだよ

ああ、これ？ 素敵な翼でしょ

君がいなくなってから、毎日毎日、丁寧に編んできたんだよ

あの夏の朝、「君を守る」という誓いが潰えた

もう約束は果たせない。生きる理由も消えた

あんなに苦痛にもがいたのに、なに一つ報われなかった気がして

せめて君がいた証を刻もうと、躍起に生きようとした

平然を装うことが、これほど苦しいとは思わなかった

泣いて、泣いた。熱い涙も、冷たくひんやりした涙もあった

でもね。その一滴一滴は、確かな言の葉となって、何かを紡いでいたんだ

話には聞いていたし、漠然と感じていた

この刹那の人生にあって、悲しみ抜いた人だけが手にできる永遠という翼

ある、代表的日本人^{このみ}は詠んだ

散りし花 落ちし実も 咲き結ぶ

いかにこひとの かえりざるらむ

死んだんだから、もう会えるわけがないのにーって思ったよ

でも、そうじゃなかった。悲しみの果て、翼を広げた先に君はいた

最近、思うんだ。この再会の喜びをつかむために、人は生を刻むんじゃない

いかって

いくら長く生きようとも、その片鱗すら気付けない人もいれば

可哀そうとしか思えない短命でも、震えるような喜びを分かち人もいる

君と出会えた本当の感動は、君を失って、それでも生き抜く中で、初めて

知れたんだ

一生かかっても編めないと思っただけど、これからはずっと一緒に

もう、どんな嵐も越えていける。君がくれた翼だよ